

それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの子です。」

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
大 水 文 隆
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤 木 博 英 社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148



5月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：家庭
- ②宣教の意向：宣教者を導くマリア
- ③日本教会の意向：中国の教会との連帯



西坂教会が建てられてから50年目を迎えます

アギラール・ファン・ホセ神父 (イエズス会)

列聖100年の年に完成
この教会の名前が『聖フィリッポ教会』だということ
を多くの人は知りません。聖フィリッポは26聖人の1人です。彼はフランシスコ会員でした。叙階式を受けるため神学生としてメキシコに帰る途中で台風に遭い、船は大坂・堺の港に漂着しました。乗っている人は皆上陸し、聖フィリッポは京都のフランシスコ修道院に行きました。着いた時、5人のフランシスコ会員は豊臣秀吉によって

死刑の宣告を受けていました。不思議な神様の呼び掛けで24歳の聖フィリッポは彼らと一緒に加えてくださうと頼み、そして西坂まで歩き、殉教しました。この出来事で聖フィリッポは、メキシコ国の第一の殉教者になりました。1924年メキシコの教会が迫害を受けた時、当時のグアダハラ教区の大司教が、聖フィリッポの取り次ぎによって迫害が終わりメキシコの教会が助けられたら、聖フィリッポの殉教地に教会を建てると約束しました。1927年迫害は終わりました。教会建設のための十分なメキシコ貨幣が山口愛次郎大司教様のもとに送られました。山口大司教は当時の状況から、すぐに教会を建てることは困難と判断し、円に換金して銀行に納めました。戦争が終わって円の価値は落ち、フィリッポ教会の建設計画は白紙に戻ってしまいました。時は流れ1950年以降、イエズス会の管区長ベトロ・アルペは日本の布教のためメキシコでお金を集めようとした際、このフィリッポ教会のプロジェクトについて知りました。アルペ神父

は、日本の信仰を深めるため、そしてまた信仰を広めるためにもこの計画は非常に役に立つと思いました。アルペ神父はこの企画実現のため、ハビエル・エスカラーダ神父という最適の人材を見つけました。神父は、「聖フィリッポ・デ・ヘススへの国家的敬意」と呼ば

集まった被災者の方々が、お茶を囲んで話しをした。また普段は手に入らない県産品を低価格で購入し、子供たちはボランティアの高校生らとゲームコーナーで遊ぶなど温かい交流の機会にもなっている。大槌ベースではボランティア募集の他、身近な県産品、長期保存がきく食品などの支援物資も呼び掛けている。連絡先は、大槌ベースキャンプ(TEL 0193-5515885)まで。

日本二十六聖人列聖150周年記念行事

- 6月8日(金) 15:00 京都カテドラルで感謝ミサ
- 6月9日(土) 11:30 岡山教会(広島教区)でミサ
14:00 長崎カトリックセンターで講演会
講師 デ・ルカ・レンゾ師
(日本二十六聖人記念館館長)
演題 「世界に見られる26聖人の姿」
- 6月10日(日) 10:00 西坂で「日本カトリック長崎・西坂巡礼所」のプレート除幕式、椿の木の植樹と祝福式
14:00 浦上カテドラルで感謝ミサ

奇跡的なイチジクの木
お金とともにメキシコ人はもう1つの贈り物をしました。聖フィリッポの生家にあつた「奇跡」のイチジクの枝です。聖フィリッポは小さいころはいたずらっ子でした。けれどもメイドさんに、「このイチジクを見て。今は枯れていますが、私はいつか聖人になり、その時必ずこのイチジクは再生するでしょう」と言いました。1597年2月5日、メキシコシティにある聖フィリッポの生家の中庭で、枯れたイチジクがよみがえりました。それを見たメイドさんは昔フィリッポが言った言葉を思い出し、驚き、

大変喜びました。西坂の教会のそばに植えられたこの枝は、小さな木になりましたが、残念ながら枯れてしまいました。聞いた話では、いろいろな教会に移され、きれいな木になったということでした。お知らせがあればもう一度西坂の教会にその木の子供を戻したいと思っています。

メキシコ全国にはこの木のことで聖フィリッポの殉教の話がよく知られていた。メキシコのあるミッシンスクールの子供たちは先生から聞いた聖フィリッポについて、彼の生涯の場面を絵に描いて西坂の教会に贈りました。その絵は現在、26聖人記念館に貴重な物として保管されています。50年前、数多くのメキシコ人が西坂教会の献堂式に参加しました。その教およそ600人。そして、毎年メキシコから多くの巡礼者が訪れ、1984年までは年間2000人前後お見えになりましたが、その後、経済的な問題でその巡礼の促進運動はできなくなりました。今年には国内には西坂が全国の巡礼地として宣言されています。西坂の教会で熱心に日本の最初の殉教者だけでなく、多くのキリシタンの殉教地である西坂に巡礼することを促進してくてはいけないと思います。それから提案として、パウロ三木が亡くなる前の勧めに従って、26人の新しい信徒を神様にささげることができれば、最もよい記念のお祝いになると思います。ぜひ提案したいと思います。日本の信者はどう応えるか、このような知らせをもって希望しています。

復活の日の朝、マグダラのマリアともう1人のマリアが、墓を見に行つた。天使に会い、弟子たちののもとに走る婦人たちの行く手にイエスが現れ、「おはよう」と言われた。復活したイエスが、何とも間延びしたようなあいさつを婦人たちにするだろうか。日本語訳は、新共同訳、フランシスコ会訳、新改訳が「おはよう」と訳している。口語訳だけが「平安あれ」である。英訳に当たつてみると、NKJ訳では「Rejoice!」、TEV訳「Peace be with you!」、となつてゐる。決して、「Good morning!」ではない▲イエスは実際何と言つたのだろうか。最も言い当ててゐるであろうギリシャ語では、*καλημέρα* (マタイ28・9)となつていて、辞書では「会つた特別のときあいさつに用ゐる語」ようこそ・おはよう・こんにちは(ぎげんよう・さようなら・おめでとう・万歳!)と多岐にわたる▲おそらくイエスはマグダラのマリアに *καλημέρα* と言つたのであろう。そのことに「おや?」と思うのに20年かかったから、「そういうことか」と納得いくまで20年かかるかもしれない▲5月は聖母月。ロザリオの祈りは退屈な祈りではなくて、「思い巡らす祈り」である。心にかかることを、ロザリオを唱えながらゆっくり思い巡らしてほしい。マリアがイエスにまつわるすべてのことを心に留めて、思い巡らしたように。(K・N)



徹夜祭では9人が受洗=西町

西町教会 4月7日(土)復活徹夜祭の厳粛な雰囲気の中、9人の方々が洗礼の恵みにあずかった。ミサの中で、主任司祭のジェブーラ・エウゲニウス師は、「勇気を持って信仰生活を送ってほしい。私たちは、永遠のいのち、復活のいのちを確実にいただいている。それを養ってほしい。毎日曜日、ご聖体をいただいて(復活のいのちを)養っていただきたい。神様の働きに対する私たちの応え、それはイエス・キリストのように生きることである。キリストを見つめ、そして喜んでキリストに従って歩んでほしい。教会全体は、あなたたちのために祈る。皆さんもキリストの道具・手足となつて、キリストの証しをしていてほしい」と、受洗者たちを激励した。受洗者の代母を務めたある女性信徒は、「十数年教会に関わつてこれられていたので、この日を迎えられる感覚です。これから見守つていくことを思い、責任も感じています」と話した。

植松教会 4月7日(土)復活徹夜祭の日に、聖堂いっぱい集まった400人余の信者が見守る中、16人(大人10、子供6)の方々が洗礼を受け、神の家族の一員となつた。中村倫明主任神父は説教の中で、「神様の恵みと同時に受洗なさる16人の方々に対し、植松の信徒が関わり、地道に声を掛けて神の国を実現することにほかならないと確信した」と話した。



新しい神の家族=植松

東日本大震災被災地支援近況報告(大槌ベースキャンプ)
岩手県上閉伊郡にある長崎教会管区のボランティア大槌ベースキャンプ(ベース長・古木真理一師)では、ボランティアの協力のもと、がれき撤去や清掃活動などが日々続いている。このほど「お茶っこサロン」と「ミニ九州物産フェア」を定期的に開催することになり、3月19日は大槌の仮設集会所で「お茶っこサロン」が、4月2日は大槌、大船渡、釜石、宮古の4ベース合同による「北海道・九州日本列島B級グルメ・炊き出し会」「当地グルメ祭」「平田(釜石市)」が、それぞれ開かれた。

長崎教区から中尾神父、宮古教会へ



長崎教区・主として区派は担中尾直通神父が4月15日に着任した。この日、マルコ・アントニオ・デ・ラ・ロサ主任神父と共に、信者やボランティアら20人余の参加のもと、隣に津波の被害はなくても町自体にはやぶさげられた。同教会は町の中にも子供たちの声も聞こえてくる。「余震は続いています。教会自体には被害はなくても町自体にはやぶさげられた。同教会は町の中にも子供たちの声も聞こえてくる。余震は続いています。教会自体には被害はなくても町自体にはやぶさげられた。同教会は町の中にも子供たちの声も聞こえてくる。」(4月16日、中尾神父)

集まった被災者の方々が、お茶を囲んで話しをした。また普段は手に入らない県産品を低価格で購入し、子供たちはボランティアの高校生らとゲームコーナーで遊ぶなど温かい交流の機会にもなっている。大槌ベースではボランティア募集の他、身近な県産品、長期保存がきく食品などの支援物資も呼び掛けている。連絡先は、大槌ベースキャンプ(TEL 0193-5515885)まで。



約400人が来場した=4月2日

復活の日の朝、マグダラのマリアともう1人のマリアが、墓を見に行つた。天使に会い、弟子たちののもとに走る婦人たちの行く手にイエスが現れ、「おはよう」と言われた。復活したイエスが、何とも間延びしたようなあいさつを婦人たちにするだろうか。日本語訳は、新共同訳、フランシスコ会訳、新改訳が「おはよう」と訳している。口語訳だけが「平安あれ」である。英訳に当たつてみると、NKJ訳では「Rejoice!」、TEV訳「Peace be with you!」、となつてゐる。決して、「Good morning!」ではない▲イエスは実際何と言つたのだろうか。最も言い当ててゐるであろうギリシャ語では、*καλημέρα* (マタイ28・9)となつていて、辞書では「会つた特別のときあいさつに用ゐる語」ようこそ・おはよう・こんにちは(ぎげんよう・さようなら・おめでとう・万歳!)と多岐にわたる▲おそらくイエスはマグダラのマリアに *καλημέρα* と言つたのであろう。そのことに「おや?」と思うのに20年かかったから、「そういうことか」と納得いくまで20年かかるかもしれない▲5月は聖母月。ロザリオの祈りは退屈な祈りではなくて、「思い巡らす祈り」である。心にかかることを、ロザリオを唱えながらゆっくり思い巡らしてほしい。マリアがイエスにまつわるすべてのことを心に留めて、思い巡らしたように。(K・N)

長崎大司教区現勢統計表 (2011年12月31日現在)

地域	長崎県	小教区	71	信徒数	司祭・他	計
面積	4,105平方キロ	準小教区	1	2009年度(総数)	1,082人	63,507人
県人口	1,416,975人	巡回教会	60	2010年度(総数)	1,060人	63,081人
カトリック	(総数) 63,142人	集会所	1	2011年度(総数)	968人	63,142人

小教区名	信徒総数			世帯数	洗礼			ミサ参加者			結婚			死亡者
	男	女	計		幼児	成人		主日	復活祭	降誕祭	信者 同土	信徒・ 他宗教	他宗 同土	
浦上	3,045	3,830	6,875	1,474	26	18		2,000	2,500	3,000	9	23	0	58
稲佐	448	526	974	292	3	0		200	250	250	1	6	0	15
城山	1,246	1,463	2,709	750	10	4		750	950	1,300	3	15	1	50
西町	1,118	1,322	2,440	783	12	1		800	1,500	1,500	0	7	0	27
本原	966	1,176	2,142	515	18	4		700	1,000	1,200	0	10	0	10
三ツ山	135	147	282	74	1	1		150	180	190	0	3	0	0
中ノ島	565	749	1,314	441	5	4		400	500	600	2	16	1	18
木鉢	200	265	465	171	2	1		200	250	250	0	0	1	10
の浦	444	558	1,002	289	12	2		300	400	600	0	2	0	7
飽河	755	1,008	1,763	490	3	1		400	600	600	2	9	0	21
本八幡	74	100	174	57	0	0		60	90	90	0	2	0	3
愛宕	171	234	405	123	2	0		110	110	140	1	1	1	6
大浦	277	511	788	228	2	1		140	190	280	0	1	0	9
大山	326	434	760	328	2	3		250	300	300	1	5	12	12
小ヶ倉	135	180	315	84	0	2		120	150	160	1	1	0	4
深堀	325	446	771	234	3	4		170	420	350	1	1	0	3
香焼	567	658	1,225	365	7	1		300	400	450	0	5	0	7
馬込	225	276	501	178	3	1		200	300	300	0	2	0	5
滑石	154	243	397	204	3	0		200	230	230	0	2	0	8
出津	1,336	1,514	2,850	650	13	6		550	750	850	2	12	0	20
黒津	304	399	703	239	0	0		300	400	500	0	1	0	17
時津	383	425	808	220	3	7		250	350	350	0	1	0	14
長与	519	595	1,114	314	5	5		350	700	700	0	0	0	5
東長崎	461	510	971	307	6	1		230	330	500	2	2	0	6
植松	625	779	1,404	368	19	5		350	550	650	1	4	0	6
水主	793	891	1,684	486	10	8		500	600	800	3	3	1	16
諫早	298	331	629	225	2	0		200	300	350	0	3	0	9
愛野	453	552	1,005	290	5	1		330	400	430	0	3	0	9
湯原	18	41	59	30	0	0		20	40	100	0	0	0	1
島江	65	90	155	79	1	1		35	100	150	0	0	2	2
三浦	77	273	350	45	1	5		240	240	250	1	0	0	3
鹿子前	501	672	1,173	382	3	1		400	500	600	0	4	0	12
俵町	311	378	689	187	9	1		250	350	400	3	4	0	12
大野	331	376	707	221	4	0		180	250	400	2	4	0	11
相浦	505	571	1,076	314	5	6		250	350	450	1	1	0	8
浅子	531	625	1,156	453	4	9		400	500	650	3	4	0	14
黒島	434	451	885	212	3	0		200	300	300	0	3	0	11
太田	238	261	499	226	3	0		300	450	450	0	2	0	6
神崎	166	125	291	115	4	2		140	200	250	0	0	0	3
梶崎	856	885	1,741	368	17	2		450	800	800	1	7	0	13
天神	410	380	790	214	7	1		300	550	550	2	4	0	5
早岐	246	316	562	136	8	1		280	360	400	1	5	0	5
平戸	217	277	494	152	3	4		120	150	250	1	1	0	4
上神崎	250	300	550	170	3	3		200	250	250	0	2	0	3
宝亀	336	390	726	211	6	3		250	350	400	0	2	0	9
田平	251	257	508	146	7	2		250	350	350	1	2	0	6
紐差	185	209	394	89	5	2		170	230	250	1	1	0	4
西木	332	394	726	220	4	0		350	500	500	1	2	0	10
平戸	560	672	1,232	287	11	0		500	700	600	0	1	0	12
山田	301	320	621	201	9	1		200	250	350	0	2	0	14
青方	317	449	766	226	4	4		230	300	350	1	0	0	8
大曾	129	187	316	62	5	0		100	250	250	0	0	0	3
青砂ヶ浦	142	168	310	110	2	0		200	260	260	0	1	0	3
丸尾	194	179	373	128	2	0		250	360	360	0	2	0	3
仲知	579	624	1,203	374	9	0		300	500	550	0	3	0	12
曾根	208	211	419	156	1	0		200	300	300	0	0	0	6
鯛ノ浦	125	138	263	139	3	1		180	280	280	1	1	0	3
浜串	274	287	561	205	9	0		250	350	350	1	0	0	5
桐	358	446	804	205	5	0		250	400	450	0	1	0	5
真手ノ浦	213	221	434	211	0	0		280	350	380	0	0	0	8
土井ノ浦	344	336	680	199	4	0		220	300	300	1	1	0	11
福江	214	168	382	133	7	0		140	280	250	0	0	0	3
浜脇	194	207	401	80	0	9		120	180	200	0	1	0	4
留頭	582	595	1,177	450	14	3		500	600	700	5	9	0	17
奈の浦	44	45	89	40	0	2		40	60	60	0	0	0	0
三井	186	271	457	204	4	1		200	300	350	0	0	0	11
貝津	218	231	449	172	2	1		100	130	130	0	1	0	6
井持	289	312	601	166	1	1		300	450	450	2	0	0	10
合	120	206	326	139	2	0		250	300	300	0	1	0	10
	69	98	167	60	3	0		70	90	90	0	0	0	3
	73	69	142	57	0	0		50	70	60	0	0	0	4
計	28,341	33,833	62,174	18,153	371	147		20,225	28,580	32,040	58	212	19	678

再び家庭を振り返る ⑤

長崎教区家庭特別委員会

赤尾 満治

十人十色……家庭もそれぞれに違いがあります。私が思い描く家庭像には当然、自分が生まれ育った家庭が反映されてしまっています。ですから、この文章を読まれても共感できない方もいらっしゃるだろうなあ、という前提で筆を進めさせていただきます。

私が家庭という言葉から真っ先に思い浮かべるのは「親父の説教」と「おふくろの味」。実際に今でも故郷に帰れば、

亡くなった先祖や、島を遠く離れ都会で暮らしている叔父、叔母、いとこたちのためにささげる時間は、目に見える一致のしるしであつたと思います。

教会共同体も一つの家族、神の家族。説教があり、食卓があり、祈りがあります。共に過ごす時間をできるだけ多くもつこと、その基本中の基本がなかなか実現できなくなつて、知らず知らずのうちに大きな溝ができてしまふのでしよう。さあ、手遅れになる前に、家族の顔をまじまじ眺めてみませんか。じっくり声を聞いてみませんか。

小冊子『復活のよろこび』
教区生涯養成委が作成
教区生涯養成委員会(中濱敬司委員長)は、今年四旬節を前に発行した小冊子『四旬節の黙想』に続き、このほど『復活のよろこび』を作成した。この冊子は、復活節第6主日(5月13日)からキリストの聖体の主日(6月10日)までの毎日

のミサで用いられる福音箇所を通して利用者が自由な時間にみことばを読み、復活の主と向き合う時間を作る。そして自分の行動を見つめ直し、神の子として生きる決意をするために1日の小さな目標を定めるといふもの。1冊200円(送料別)。購入・問い合わせは生涯養成委員会(Tel 095・841・7731)まで。

●田川千鶴子様(中町)
長崎カトリック神学院
●古川すみえ様(神崎)
右の方々からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

●森山國弘様(神崎)
故カタリナ
●高野カネ様(出津)
故トマ高野光男様
右の方々から神学生養成などのために香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

墓地・納骨堂 分譲中
高尾・本原・石神・江平・坂本 他
現地ご案内致します
なが さき せき ちょう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル
☎(095)862-2469

主の平安
株式会社 五島式典社(斎場) 五島中央会館
代表取締役 ヨゼフ 浦 昭
24時間営業
五島市上大津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551
FAX (0959) 74-5552
五島市奈留町浦 1899-1 TEL (0959) 64-3101
FAX (0959) 64-3102

タンスの中身は入れたまま責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)
24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00
水浦運送
シモン 水浦 幹雄
長崎市上野町 12-3
TEL(095)847-7151
844-1420

当社オリジナル商品
一筆箋(教会編) 定価350円(税込)
各種印刷物のお見積りも無料です。お気軽にご相談下さい。
九州印刷株式会社
代表取締役社長 トマス 川原 保夫
〒852-8103 長崎市緑町4-5
TEL(095)846-6844 FAX(095)846-6845

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網
エテルナ・ワコー(株)
代表取締役 ミカエル 溝口 美義
〒858-0926 佐世保市大湯町 586
TEL(0956)47-4380

聖香油ミサ (司祭の日) —浦上教会



大司教によって聖別される油(赤・洗礼志願者の油、白・聖香油、紫・病者の油)。

4月3日(火) 90人余の司祭団と高見三司大司教が浦上教会に集まり、共同司式によって聖香油ミサをささげた。

念される聖木曜日に、行われるミサだが、その日に共に集まることが困難な場合には復活祭に近い他の日を選ぶことができ、長崎教区では聖火曜日に



大司教は説教の中で、『司祭職』をまづいただいた司教・司祭がその意味を深く考え実践する必要があると述べ、また修道者、信徒も、ある意味、洗礼を受けた時にキリストの司祭職にあずかっているこ

とを説いた。そして、キリストを中心に、常に私たちがひとつになつていく道を共に歩んでいくように」と祈りを呼び掛けた。

ミサでは、司祭叙階60年、50年、25年の節目を迎えた司祭たちが大司教と共に祭壇を囲み(写真)、参加者は皆、司祭職の恵みを祝い、感謝し

祈った。ミサ後は、浦上教会信徒会館に会場を移し司祭の日の祝賀会が行われた。

鹿子前教会で合同堅信式と小教区設立 50 周年記念ミサ



3月25日(日) 鹿子前教会において、佐世保南地区合同堅信式と鹿子前小教区設立50周年を記念するミサがささげられ、多くの参

加者が共に祈り、喜びを分かち合った。高見三司大司教司式による堅信式では、佐世保南地区7小教区(三浦町、鹿子前、俵町、大野、太田尾、天神、早岐)の信徒がそれぞれ分担してミサ奉仕を務め、大司教と子供を合わせ34人が堅信の秘跡を受けた。



鹿子前教会

子前小教区』に改称した。教皇ベネディクト16世の平和メッセージに触れながら「正義と平和」の原点を探る「これから『正義と平和』の話をしよう!」2012年6月24日(日) 13:00~15:00 カトリックセンターホール 講師:マイケル・シーゲル師(南山大学教授・神言修道会) 主催:教区福音化推進部平和推進委員会



2014年、 教区代表者会議 (教区シノドス) に向けて

長崎教区の再出発

教区シノドスについて 4-(2)

シノドス事務局 小瀬良明

教区シノドスに向けてのアンケートにおいて1つ懸念されていることは、教会から遠ざかっておられる信徒の方々の意見が反映されるかということです。

現在、長崎教区の平均ミサ参加率は約30%といわれています。分

シノドスが目指すところは、1人でも多い信徒の方々が日曜日のミサに

参加し、神との交わりの中で毎日の生活を有意義なものとし、その人生が神に喜ばれるものとなることを願うものです。そのため

信仰養成部は信仰生活を充実させるという、どちらかといえば内向かう考え方であり、福音化推進部はその信仰を社会の中に生かすとい

う、外に向かう考え方である

春・神学生入学

春を迎え、今年度も神学院に新入生が入学した。

▼長崎カトリック神学院

中学1年 森 翔真(太田尾)

吉浦 航太(禰崎) 萩原 篤志(福岡・今村) 上原 アイバー (福岡・山鹿) 中学2年 吉原 祐則(福江) 高校1年 吉浦 勲(福岡・伊万里)

▼聖ルドヴィコ神学院

中学1年 柴田 龍摩 (名古屋・多治見) 高校1年 藤田 レオン (札幌・真駒内) 藤田 リオン (同)

巡回教会めぐり

15

早岐小教区 川棚教会

家庭的雰囲気の中で
支え合い、絆を深める



1950年(昭和25) 戦後間もなく外国から

た人々と転入者に加え

現在の形を整え、6代目主任司祭ラウレンシオ深堀栄市神父から教区司祭が受け持ち、85年(昭和60)幼稚園・

浅子小教区 横浦教会

1989年
元日に初ミサ

戦後、開拓団が入植し、浅子教会と神崎教会の信者たちの集まりによって、1955年(昭和30)ごろから個人の民家を借り、浅子教会の神父が1カ月に1回ミサに来てくださっていた。

戦後、開拓団が入植し、浅子教会と神崎教会の信者たちの集まりによって、1955年(昭和30)ごろから個人の民家を借り、浅子教会の神父が1カ月に1回ミサに来てくださっていた。



1954年(昭和29) 皆瀬は炭鉱の坑道が多く、炭鉱に従事する信徒や皆瀬へ移住してきた信徒の有志による協力と、

大野小教区 皆瀬教会

和服姿の聖母子像が
聖堂に安置されている

1954年(昭和29) 皆瀬は炭鉱の坑道が多く、炭鉱に従事する信徒や皆瀬へ移住してきた信徒の有志による協力と、



年(昭和30) 9月スカボロ会から司祭が着任。それに伴い俵町から独立し、以後13年間スカボロ会に委ねられた。

1968年(昭和43) 3月長崎教区に移管され、大野教会の巡回教会となる。1970年(昭和45)地滑りによる聖堂の損傷のため、2代目聖堂が建設された。その後現在までに諸設備の改善も行われた。現在の聖堂



メラニア 田口ナツコ修道女 (長崎純心聖母会)

3月19日、聖フランシスコ病院にてうつ血性心不全のため帰天。74歳。長崎市生まれ。信仰あつた家庭の中で召命を育まれ、姉と妹も修道女、弟の1人は司祭。1963年初誓願、72年終生誓願宣立。

初誓願宣立後は純心幼稚園(長崎市文教町)、深



日時: 2012年5月20日 会場: 雲仙メモリアルホール

堀幼稚園、諫早純心幼稚園、あけのほし幼稚園(長崎市八幡町)などの各地で幼児教育と教会奉仕に携わり、あけのほし幼稚園では長年園長として活躍したが、途中、悪性関節リウマチにかかり、病苦と闘いながらの奉仕となった。

療養のために使徒職の現場を退いた後は、入退院を繰り返しながらも常に卒園児や保護者、関わったすべての方々を心に留め、病苦をささげながら祈る日々だった。

葬儀ミサ、告別式は3月21日、修道会本部聖堂で行われた。

四旬節——黙想会・研修会で 小中高生集う(長崎、上五島)

上五島地区 子供合同黙想会

教区信仰教育委員会の上五島地区は、小学生と中学生の1日合同黙想会



ズ形式で学んだ。

初めに、大曾教会の中濱繁喜神父から取り組み方の説明を受け、7区画に分けられた教会の敷地をグループ単位で回って、あらかじめ隠していた問題を探し、答えを用紙に記入していった。次々に問題を解くグループもあったが、なかなか問題を見つけ出せないグループもあった。どのグループも

ループも話し合って協力し合いながら問題に取り組んでいたが、その中でも早く、正確に回答した上位3グループには記念品が贈られた。



立山修道院(長崎市)で高校生の研修会を行い、長崎各地から15人の高校生が集まった。

教区高校生研修会

3月28、29日、教区青少年委員会はイエズス会

長崎3地区 高校生黙想会

3月20日(火)、長崎3地区の高校生黙想会が『ありがとう：感謝』をテーマに長崎大司教館で行われた。

コンベンツアル聖フランシスコ修道会の大水恵一師の指導の下、参加した11人の高校生は、場にイエスの生涯をクイ



なさい。(1テサ5・18)というパウロの言葉を黙想し、日頃から感謝の言葉を伝えていくか振り返りながら、親や神様に感謝することの大切さ、苦しみや困難も感謝して受け止めることなど、あらたな気付きを得た。

30年以上の関わり 長崎カトリック合唱団 恵楓園(熊本)で交流会

長崎教区から福岡教区に派遣されている一ノ瀬輝幸神父が主任司祭を務める武蔵ヶ丘教会には、国立療養所菊池恵楓園内に入所者の

訪問しての奉仕活動、高校生大会を行う予定。多くの高校生の参加が期待されている。

ための巡回教会があり、日曜日の9時にミサがさげられている。長崎カトリック合唱団は4月15日、恵楓園教会を訪れ、ミサを共にし、交流のひとときを過ごした。

長崎カトリック合唱団と恵楓園教会の交流は30



神の御子イエズスさまは、後悔なさっておられるだろうか。人類に、ご自分の母をお与えになったことを。いや、そんなことはありません。有り難い。

天正少年使節の子が司祭となられた。伊藤マンショ神父さまは、休まれる前、「アヴェ・マリアの祈りを1回」唱えておられたそう。これならできそうです。この司祭は罪人なので、痛悔の祈りを唱えてから、アヴェ・マリアの祈りを唱えて休みます。ありがたい。(次回から長崎カトリック神学院・谷脇誠一郎神父)

年以上も続いており、かつては泊まり込みで酒を酌み交わすこともあったが、現在はミサと茶話会のみとなっている。

神と出会う イエス・キリストと出会う 自分と出会う

カトリック 通信講座

分かりやすく書かれたテキストを読んだ後、解答はがきの設問(3~4問)に答えを書き込んでご返送いただきます。さまざまな理由で教会に行くことができない方や、受洗後、より学習を深めたい方に最適です。「幸せな結婚」は結婚準備講座としてもご活用いただけます。

<全7講座>

T001 キリスト教とは T002 聖書入門[I]
T003 キリスト教入門 T004 神・発見の手引
T005 聖書入門[II] T006 幸せな結婚
T007 生きること・死ぬこと

受講料 T001~T004 4,500円(教材費・税込)
T005~T007 5,000円(教材費・税込)

お申し込み方法

郵便振替用紙に講座名・講座番号(T001~T007)をご記入の上、下記にお振り込みください。

振替口座番号 00170-2-84745

加入者名 オリエンズ宗教研究所

詳しくはホームページ(<http://www.oriens.or.jp>)や通信講座の携帯サイト(<http://www.oriens.or.jp/mobile/>)、パンフレットをご覧ください。ご希望の方にはパンフレットをお送りいたします。

お問い合わせ・お申し込み

オリエンズ宗教研究所 カトリック通信講座
〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5
TEL 03-3322-7601 FAX 03-3325-5322

ご先祖に心より感謝を・・・

材石 治明

長崎本店 長崎市城栄町13-1 電話 (095) 846-3598
大村店 大村市民霊園内 電話 (0957) 50-3008

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社 西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 剛
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268



写真提供/中外日報社
マ教皇庁諸宗教対話評議会長のジャン・ルイ・トローラン枢機卿が世界の仏教徒へ発信した祝辞を朗読し、灌仏した写真。

第46回 「世界広報の日」沈黙と言葉

日時 2012年5月26日(土)
13時30分~16時(開場13時)

場所 カトリックセンター 大ホール
〒852-8113 長崎市上野町10-34

お話し 高見三明大司教
第46回「世界広報の日」教皇メッセージの解説
下窄英知神父
広報の現場から教皇メッセージを読む
※講演者の都合により、講演内容が多少変更になる場合もあります。

参加費無料。どなたでも参加可。

主催 聖パウロ修道会、聖パウロ女子修道会、師イエズス修道女会

後援 カトリック中央協議会 広報

問合先 サンパウロ(担当 徳田隆仁修道士)
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-21-9
TEL 03-3357-7651 FAX 03-3357-7652

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
倉長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8488



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL (095) 844-4011
24時間営業 FAX (095) 843-9896